

三春病院経営プランの点検結果一覧

1. 町立三春病院の果たすべき役割

No	取組項目		内容	状況		点検・評価
				実施年度	25年度	
1	基礎的医療の提供	診療科、病棟機能の維持・拡充	サブ急性期を中心とした機能の提供	20年度	継続	25.4日当直医師を星病院診療部の協力で体制強化した。 25.5急性期看護補助体制整備の施設基準追加申請。 25.7救急搬送対応のため内科外来にダイヤルイン対応を開始した。
2			往診、訪問医療の機能充実	22年度	継続	22.4訪問リハビリ、22.7より往診・訪問診療を継続。 訪問看護ステーション設置について検討。
3			各種検査等の機能維持	20年度	継続	人間ドック847名、検診880名。CT検査347件受託。
4			土曜診療の実施	20年度	継続	内科終日診療、耳鼻咽喉科は午前、小児科は午後、産婦人科は隔週で実施している。
5		診療科の増設	受診者の動向により診療科の新設を検討する。	20年度	継続	23.6から小児科外来を毎週水曜日午前と土曜日午後に変更。 24.3外科外来は毎週火曜日午後も診療日とした。
6		モニター制度や満足度調査の実施	病院意見箱の設置、満足度調査の実施	20年度	継続	・7.9.3月モニター会議を開催。 ・6月入院患者満足度調査を実施。34名の回答で88%が満足と回答。 ・6月外来待ち時間調査を実施し、満足度の上昇を図った。
7			ホームページでの意見収集	20年度	継続	ホームページ上に病院のアドレスを開示し、意見収集ができる体制をとっている。
8	一次救急医療としての機能		休日や夜間における初期段階の救急患者や比較的重度の症状の患者の受入	20年度	継続	救急指定日は2日。救急指定日以外では来院1,654人、入院493人を受け入れ。救急車搬入者は305人。

2. 公的医療機関としての役割

No	取組項目		内容	状況		点検・評価
				実施年度	25年度	
9	地域医療の充実	地域連携室の設置	地域連携室を設置し、医療機関との連携、町民の医療相談や情報提供体制を充実させる。	20年度	継続	7月相談室ダイヤルインを導入案内し、関係機関や町民等からの医療相談の利便性をはかった。
10		開放型病院としての施設基準の取得	開放病床を設置し、登録医師と協力して診療を行える体制を整備する。	20年度	継続	38名の登録医師と協力し、診療を行える体制を整備している。
11			高度医療機器は、医療機関との共同利用を図る。	20年度	継続	受託CT検査351件。紹介と本院との遠隔読影システムの実施を継続。開業医患者の術後や検査入院を受け入れ、共同指導も一部開始している。
12		診療所医師との症例検討会・情報交換会の定期的開催	医療情報や課題などを共有し、効果的効率的な医療福祉を推進する。	20年度	継続	病診が連携した健診の実施、開業医による当直の支援、田村地区休日当番医以外に毎月第1・3日曜日の休日診療の実施。
13		「研修施設」機能の充実	開業医や医療関係団体との教育・研修活動を行う。	20年度	継続	地域の医療、保健、福祉関係者及び一般住民を対象として、研修会10回、公開講座1回、健康教室等22回を開催した。
14		医療技術職の人材育成	臨床研修医の受入を進め、協力型臨床研修指定病院とする。	20年度	継続	
15			研修医、実習生等を受け入れ、教育の場を提供する。	20年度	継続	星総合病院の初期研修医6名の地域医療研修を受け入れた。 三春中、田村高校ほか各種専門学校等20件の実習見学を受け入れた
16	行政施策の実施機関としての機能	災害時における地域拠点病院としての機能	訓練の継続。	20年度	継続	・消防署と連携し救急患者のスムーズな受け入れができるよう体制を整備。 ・災害時における医療情報収集のための衛生電話購入申請。
17		広域的連携を図り、非常時に備えた体制の構築	研修体制の確立、情報のネットワーク化など災害時に備えた体制を構築。		検討中	・県中地域災害救急医療機関への加入を検討。 ・ふくしま病院連携ネットワークに加入し、有事の際に県内医療機関との情報共有、連携体制を図る。

3. 保健・福祉との連携

No	取組項目		内容	状況		点検・評価
				実施年度	25年度	
18	連携の拠点としての機能	相談室の設置	退院後に安心して生活できるよう専門スタッフが対応。	20年度	継続	相談業務を行うとともに、リハビリテーションスタッフが事前に退院先を訪問し、指導・訓練に活かしている
19		介護施設等との協力医療機関	特別養護老人ホーム・養護老人ホームなどの協力医療機関。	20年度	継続	三春町敬老園、あぶくま荘の嘱託医、及び協力医療機関として10ヶ所受託している。
20		保育所・幼稚園等との連携	病児保育、病後児保育の実施、子育て支援関連施設の設置検討。		検討中	指定管理者は長期的な視点にたって判断していきたいとしている。
21	予防体制の強化	保健予防事業の強化	保健センターと連携し、健康づくり情報の提供、健康教室を開催	20年度	継続	・ 予防接種者 1,458人 ・ 健診受診者 880人 ・ 9～10ヵ月児健診年間9回130人 ・ 特定保健指導（積極的支援・動機付け支援）実施
22		施設健診業務の受託	健診業務を受託し、受診機会の拡大に努める。	20年度	継続	乳がん、子宮がん、胃がん、肺がん、大腸がん、特定健診のほかに企業健診（年間15社）の受託も行っている。
23		健診データの共有化による利活用	健診結果により、町・かかりつけ医が連携した受診者の支援システム構築を検討する。		検討中	個人情報を守りながら連携ができるようなシステム構築を検討していく。

4. 住民参加型のコミュニティ施設

No	取組項目	内容	状況		点検・評価	
			実施年度	25年度		
24	住民参加型施設としての役割	ボランティアの受入	町民の病院として、地域住民の参画を推進する。	22年度	継続	延べ8団体75名のボランティアを受け入れた。
25		職場見学・職場体験等の受入	教育活動の現場として支援する。	20年度	継続	延べ138人の見学を受け入れたほか、町内等の中学・高校生84名の職場体験を受け入れた。
26		病院フェスタの実施	職員と住民の交流を通じ、地域の声を病院運営に反映させる。	20年度	継続	9月28日「みはるフェスタ」を開催し250名が来所した。
27		職員の地域行事参加及び協力	地域の行事等に参加協力する。	20年度	継続	さくら湖マラソン、三春盆踊り、三春秋祭り等に参加協力し、交流を図った。
28		コミュニティ機能	演奏会や作品展を開催し、患者と住民の交流の場を提供する。	20年度	継続	演奏会や作品展を行った。
29	広報広聴機関としての機能	行政資料の掲示等	患者、利用者に町の資料を提供する。		実施	介護保険等各種申請資料、及び行政主催の健康・家族教室の資料等について、掲示及びパンフレットを設置した
30		情報端末の設置による町からの情報提供	インターネット等による適時な情報の発信・共有化を行う。	20年度	継続	ホームページ、町広報紙への「病院だより」掲載、病院パンフレットの作成などにより、情報発信を行った。

5. 地域の発展に貢献できる病院運営の実践

No	取組項目		内容	状況		点検・評価
				実施年度	25年度	
31	地域社会に根ざした病院運営	地元出身の医療従事者の積極採用	地元採用を積極的に行う。	20年度	継続	常勤職員数101名。内、三春町内居住者は25名、24.8%。
32		職員の地域への定住促進	地域活性化に貢献できるよう、定住を促進する。	24年度	継続	三春町定住の職員2名が産休・育休を取得し第1子、第2子の子育ての支援を行った。
33		地域産業との連携	産業医として事業所等の健康管理に参画、病院食材への地産地消の推進、医療関連産業の振興を図る。	20年度	継続	・三春町役場並びに三春町社会福祉協議会の産業医を受託 ・病院食材には地元野菜を仕入れている。

6. 安全で安心な医療の提供等

No	取組項目	内容	状況		点検・評価
			実施年度	25年度	
34	医療安全管理室の活動推進	医療安全管理センターと連動した活動を実践する。	20年度	継続	医療安全管理室主催で全職員対象の研修会を開催し101名が参加。また病院感染症対策委員会・ICTと連携した感染症対策を行う。 ・星総合病院・会田病院との合同院内ラウンド、及びカンファレンスを行い、感染対策の強化をした。
35	医療安全対策の充実	医療事故等は、「医療問題の公表基準」に基づき公表する。	20年度	継続	安全推進委員会を開催し再発防止等を協議した。
36		ひやりハット、事故等の事例の検討及び分析を行い、医療安全対策の充実をはかる。	20年度	継続	・4月医療安全管理報告(インシデント報告)を電子カルテの部門システム上にアップした。 ・ひやりハット事例を全職員で共有し改善策を検討。KYT研修で、潜在的なリスクについて認識した。 ・インシデント報告件数 507件(0レベル140件、1レベル129件、2レベル122件、3aレベル114件、3bレベル2件)。
37	患者、利用者が求めるサービスの提供と接遇の向上	サービス向上委員会を中心に全職員による質の高いサービスを提供する。	20年度	継続	・外来診療の待ち時間対策についてサービス向上委員会、総合連絡会・業務改善委員会で検討し、9月に電子血圧計を設置し、診察前の血圧測定を開始した。
38	診療の質の向上	診療体制を整備し、必要な医療の提供に努める。	20年度	継続	5月医師確保に向け、常勤医師の募集を求人雑誌に掲載した。 7月常勤医師1名の減少に対し新たな常勤医師を確保した。 1月星総合病院より内科医師1名を増員し水曜午後の診療体制を強化した
39		地域のニーズを捉え、必要とされる訪問看護や訪問リハビリの実施を検討する。	24年度	継続	・リハビリ専門医の確保が課題。訪問リハビリは実施している。 ・訪問看護ステーションの開設について検討している
40		産婦人科の常設を目指す。		検討中	10月常勤医師の確保について県立福島医大に支援依頼を申請した。
41	医療倫理及び法令遵守に基づいた施設の管理運営	説明と同意、記録を徹底した医療を実践する。	20年度	継続	H25.3月から電子カルテ導入により、効率的な診療システム構築を行った。
42	クリティカルパスの運用	運用により、患者にわかりやすい医療の提供、平均在院日数の短縮、チーム医療の充実に取り組む。	20年度	継続	5月眼科クリティカルパスと電子カルテの運用上の問題に対する対策を検討。医師指示内容のセット化を図った。
43	医療人として力のある人材育成	職員の院内・院外研修の計画的な開催と積極的参加による質の向上を図る。	20年度	継続	医療安全管理、院内感染対策関係等の研修会を24回開催した。
44		専門領域の能力開発による組織全体の活性化を図る。	20年度	継続	・自己啓発制度を活用し、研修に25回延べ33名が参加した。 ・職員の資格取得支援制度により8名が新たな資格を取得。
45	病院機能評価受審	21年度内に取得を目指し、病院機能の向上と維持充実を図る。	24年度	継続	・ H24. 10審査を受審済み。 ・ 病院機能評価「Ver6. 審査体制区分1」

7. 数値目標と実績

(1) 収支改善に係る数値

区 分	平成22年度 実 績	平成23年度 実績 イ	平成24年度 実績 イ	平成25年度 計画 ア	平成25年度 実績 イ	計画対比 イーア
経常収支比率	104.8%	101.8%	101.6%	102.4%	100.4%	△2.0%
医業収支比率	106.8%	102.3%	103.5%	104.4%	102.5%	△1.9%
職員給与費対医業収益比率	67.9%	68.2%	69.1%	59.0%	63.8%	4.7%

(2) 経費削減に係る数値

区 分	平成22年度 実 績	平成23年度 実績 イ	平成24年度 実績 イ	平成25年度 計画 ア	平成25年度 実績 イ	計画対比 イーア
材料費対医業収益比率	9.6%	15.5%	10.6%	17.0%	9.7%	-7.3%

(3) 収入確保に係る数値

区 分	平成22年度 実 績	平成23年度 実績 イ	平成24年度 実績 イ	平成25年度 計画 ア	平成25年度 実績 イ	計画対比 イーア
1日当り外来患者数	155人	195人	172人	137人	154人	17人
1日当り入院患者数	70人	78人	74人	70人	66人	△4人
病床利用率	81.40%	90.70%	85.48%	81.40%	76.74%	△4.65%
平均在院日数(一般病棟)	16.0日	17.7日	20.0日	18.0日	20.9日	2.9日
患者1人当り診療収入(外来)	6,673円	6,744円	6,583円	8,200円	6,597円	△1,327円
患者1人当り診療収入(入院)	26,509円	29,236円	28,691円	27,500円	30,682円	3,182円

(4) 医療機能の確保に係る数値

区 分	平成22年度 実 績	平成23年度 実績 イ	平成24年度 実績 イ	平成25年度 計画 ア	平成25年度 実績 イ	計画対比 イーア
紹介件数	976件	1309件	1224件	1100件	1106件	6件

(5) 指定管理者の収支(損益計算)

単位: 百万円

区分	平成22年度 実 績	平成23年度 実績 イ	平成24年度 実績 イ	平成25年度 計画 ア	平成25年度 実績 イ	計画対比 イーア
経常収益 ①=A+B-i	1,023	1,458	1,102	1,040	1,051	11
医業収益 A	1,003	1,224	1,076	1,028	1,040	12
入院収益a	706	834	763	711	742	31
入院診療日数	365日	366日	365日	365日	365日	365日
病床数	86床	86床	86床	86床	86床	86床
1日当り患者数(人)	70人	78人	74人	70人	66人	△4人
(病床利用率)	81.40%	90.70%	85.48%	81.40%	76.74%	△4.65%
診療単価(円)	26,509円	29,236円	28,691円	27,500円	30,682円	3,182円
外来収益b	268	350	280	300	268	△ 32
外来診療日数	264日	266日	264日	264日	264日	
1日当り患者数(人)	155人	195人	172人	137人	154人	17人
診療単価(円)	6,673円	6,744円	6,583円	8,200円	6,597円	△1,327円
室料差額c	5	6	5	6	4	△ 2
その他の医業収益d	24	34	28	11	26	15
医業外収益 B	20	234	26	12	11	△ 1
経常費用②C+D+E-j	949	1,207	1,057	963	1,019	56
医業費用 C(e+f+g+h-k)	939	1,197	1,040	985	1,015	30
人件費 e	681	835	744	607	663	56
医業収益比率	67.90%	68.22%	69.14%	59.05%	63.75%	4.70%
材料費 f	96	190	114	175	101	△ 74
医業収益比率	9.57%	15.52%	10.59%	17.02%	9.71%	△7.31%
その他経費 g	181	191	201	226	236	10
医業収益比率	18.05%	15.60%	18.68%	21.98%	22.69%	0.71%
減価償却・資産減耗費等 h	9	9	9	5	43	38
医業外費用 D	9	10	17	1	4	3
その他の費用 E	47	22	17	0	4	4
経常損益 ③=①-②	74	251	45	77	32	△ 45
再掲 星総合病院会計より受入 i	0	0	0	0	0	0
星総合病院会計へ繰入 j	46	22	17	23	4	△ 19
指定管理者負担金 k	28	28	28	28	28	0